

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生市立福生第七小学校

令和8年度 学校だより

夏休み 号

福生第七小学校

ホームページ

URL

<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>



所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 菅野 恭子

令和8年7月17日 発行



経験や努力が 才能や能力の向上に

校長 菅野 恭子

今日で1学期も終わります。4月からの数か月間、子どもたちは月ごとに意識をもって「自分で自分を高める学校生活」を送ってきました。今日の終業式では、学年ごとに1学期を通して大きく成長したことについてエピソードを添えて話しました。

明日からは夏休み。心身共にリフレッシュをし、夏だからこそできる経験をぜひしてみましょう。

経験や努力が 才能や能力の向上に ～ 成長マインドセット ～

自分と異なる人がたくさん集まる「学校」で学ぶことの意義について、昨年度から機会あるごとに考えさせてきました。

「何でだろう」と考えての合言葉をきっかけに、学習や行事、日々の活動などの意味を考え向き合うことで自己調整力も少しずつ高まってきていると感じています。

その理由は、ボランティアや講師等で学校に来校した方々から「時間前行動ができている」「話をよく聞いてくれる」「授業中、各教室で落ち着いた授業が行われていて校舎が静か」「校舎や教室がきれい」など、嬉しい言葉をたくさんいただくからです。まだまだ改善できる余地はありますが、以前の様子と比べて、第三者の感想から改めて成長を感じています。

学校では、日々、様々なことがある中で「どう向き合うか」という考え方を意識させています。成長マインドセットという言い方もありますが、「自分の才能や能力は、努力や経験を通して伸ばしていける」という考え方のもと、以下について意識しながら指導にあたっています。

①「失敗を『成長のチャンス』に変えられる」

→「どこでつまづいたか」「次はどう改善できるか」を振り返り、上手くいかないことも「成功までの経験」と位置付ける。

②「努力を楽しめるようになる（過程を大切にする）」

→結果や他との比較に執着せず、「自分がどれだけ努力したか」「前よりも何ができるようになったか」に焦点を当て、自分自身で努力や成長を褒める気持ちを大切にする。

③「自分の限界を超えられる」

→①②を踏まえた上で、あえて少しだけ難度が高く、失敗するかもしれないことにも「挑戦」することを楽しむ。



★集会委員会企画【手つなぎドロケイ】
準備、練習を重ね、全校の前で実践を示しながらルール説明を行う。



～ いざ、ゲームスタート！～
ルールが伝わり、全校で思い切り活動ができ、楽しい時間が充実する。【ペアは兄弟学年】



～ 振り返り（価値付けと次に向けて）～
集会終了後、担当教員と子どもたちで短時間振り返りをし、達成感等を共有する。

指導や支援、個別・集団・小集団、先導・伴走等、様々なかわり方をしながら子どもたちの「たくましさ」や「しなやかさ」を育てています。

「地域の力」 探究的な学びの充実 ～ ホタル観察会 ～

6月29日（月）には「ホタル観察会」を行いました。今年も昨年に引き続き、全学年からたくさんの参観がありました！

3年生はホタル研究会の方々の御協力でホタルドームやほたる公園での観察も併せて行い、比較学習を通して次の課題を個々が考えられる学びとなりました。【今年はホタルがたくさん飛びました！】

2学期には、他の学年の学習でもさらに多くの地域の方々と連携した学びが始まります。子どもたちの「何でだろう」「こうしてみたい」を掻き立てる学びが充実し、「自己の成長を実感できる」学習を引き続き充実させていきます。



【3年生】担任による説明と案内
3年生の希望者による参加でしたが、たくさんの参加がありました。夜のホタルは綺麗でした！

★4月から、子どもたちの「欠席」や「遅刻」が大幅に減っています。朝会や集会、朝学習・朝読書なども時間にゆとりをもって始めています！★